

平成22年10月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

10月3日09時26分に新潟県上越地方でM4.7の地震が発生し、新潟県上越市^{じょうえつし}で最大震度5弱を観測しました。

全国で震度1以上を観測した地震の回数は164回、日本及びその周辺におけるM4.0以上の地震の回数は76回でした。

国土地理院のGPS観測結果では、9月29日に発生した福島県中通りの地震に伴うごくわずかな地殻変動が見られます。それ以外は特に目立った変動は見られません。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

○ [火山活動]

桜島の昭和火口では、13日21時39分に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目(昭和火口から800m~1300m)まで達しました。その後も同程度の噴火が発生するおそれがあると判断し13日22時35分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)が継続しています。

霧島山(新燃岳)では、火山性地震は増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過しました。新燃岳火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)が継続しています。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、噴火活動は活発に経過しました。火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGPSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成22年10月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2010-goudou1109.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成22年10月号(平成22年11月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注5：平成22年11月の地震活動及び火山活動については、平成22年12月8日に発表の予定です。